

活動分野	森に親しむ懇談会		
タイトル	森林インストラクターが語る千葉の魅力（第4回）		
実施日時	平成31年1月17日（木）18時45分～20時45分		
実施場所	船橋中央公民館 4階第1会議室		
受講者	19名	F I C会員	19名

活動の内容

講師とテーマ

- ① 西河内氏「下総台地東端に位置する薬園台の歴史」
～土地利用と水利用、庶民にも活用された江戸時代の薬草園～
- ② 山家氏「くもの話」



内容

① 「下総台地東端に位置する薬園台の歴史」：話題提供 西河内氏
船橋市薬園台（薬円台）の歴史は享保7年（1722年）将軍徳川吉宗の指示で、丹羽正伯と桐山田右衛門の2名の指導によって、薬園開発が行われた時に始まる。その正伯は小石川養生所で使用する薬草を下総薬園で作っており、明治以後、地名・石碑・学校名に正伯の名が残っており、住民がいかに慕っていたかを思わせる。戦後は殆どが農地開発され、薬草園は地名だけ残った。又、この地は下総台地最南端の舌状台地と入り組んだ谷津田先端部にあり、以前は湧水豊かな池等があったが、周辺の宅地開発により規模も小さくなって、湧水らしき物がなくなった。今、地元薬園台高校性が、薬草園の復活を目指して活動をしている。



② 「くもの話」：話題提供 山家氏
“くも”といえばクモの糸を思い浮かべるが、クモには網を張るクモと徘徊するクモが有る。クモにはお尻に3対6個の糸の出る”糸イボ”があり、そこから出る6種の成分の糸を組み合わせる縦糸と横糸の性質の異なる網を張る。網には円網・不規則網・皿網・棚網・受信糸網等の種類が有り、クモの種類によってそれぞれ作る網も違っている。クモにも天敵がおり、オオモンクロベッコウ等の昆虫やクモタケのような菌類がいる。一方日本に生息する毒クモには日本在来種のカバキコマチグモや外来種のセアカゴケグモがいる。勿論、準絶滅危惧種もあり、カネコトタテグモ等がリストされている。

